

令和6年度第1回瀬戸市図書館協議会
議事録

日時：令和6年7月9日（火）午後3時から4時30分まで

場所：瀬戸市立図書館 1階 集会室

出席者：14名

<会長> 中井 孝幸

<委員> 加藤 英憲（副会長）、石川 良文、加藤 絹子、加藤 由夏、佐合 浩史
野田 敬資、村木 さやか

<事務局>教育長 加藤 正彦、教育部長 駒田 一幸、図書館長 吉村 きみ、図書館専門員
幸村 弘美、図書館主事 矢野 和幸

<オブザーバー>株式会社リブネット 八尾 恵

欠席者：柴田 優子、米井 勝一郎

傍聴者：0名

議事内容：

1 開会

事務局(専門員)進行

- ・ 会議成立の報告
- ・ 委員へ議事内容記録のための録音の説明
- ・ 閉会予定時刻の説明

2 あいさつ

○事務局(教育長)

現在の瀬戸市立図書館本館は、昭和45年（1970年）に建設された。今年は54年目ということになり、長年の懸案であったリニューアルをいよいよ始めることになる。次第の第4項に記載のある図書館リニューアルについて「新しい図書館のあり方」を様々なご意見いただきながら検討してきた。場所、地域にとって使いやすいかなど色々なご意見を賜った。長寿命化の改修工事により、市民にとって親しみやすい、使いやすい、そして、新しい時代に合った図書館としてリニューアルをしていく。

図書館がより市民にとって使いやすい図書館となるために皆様の立場から色々なご意見を賜ればありがたい。

○事務局(専門員)

- ・ 資料確認

3 委員紹介

○事務局(専門員)

配布資料1に基づいて紹介。

瀬戸市図書館協議会条例第3条の協議会は委員10人以内で組織するという規定に基づき、10人の委員を選任している。野田委員、加藤英憲委員、米井委員が新たに就任。加藤由夏委員、村木委員は市民公募により新たに就任。

4 議事

○事務局(専門員)

議事に移る。会議の議長は本来、会長が務めることとなっているが、会長が選任されていないため、選任されるまでの間、代わりに務める。

(1) 会長、副会長の選任について

○事務局(専門員)

会長および副会長については、瀬戸市図書館協議会条例第7条に委員の互選により選出することとなっている。会長および副会長に立候補、または推薦はあるか。

○委員

会長には中井孝幸委員を推薦する。

○事務局(専門員)

賛同いただける委員は拍手をお願いします。中井委員を会長として選任することを承認いただけたとする。副会長について立候補、または推薦はあるか。

○委員

副会長には加藤英憲委員を推薦する。

○事務局(専門員)

賛同いただける委員は拍手をお願いします。加藤英憲委員を会長として選任することを承認いただけたとする。今後の議事については、瀬戸市図書館協議会条例第8条第1項の規定に基づき中井会長を議長として進行をお願いします。

○会長

日本図書館協会の施設委員会の委員に就任しており、全国の新しい図書館がどのような形で建築されているかという統計作成のためアンケートを集計している。近年5年間の平均をとると、新しくできる図書館の8割が複合建築で計画されており、複合施設が非常に増えてきている。

新築とは別に、瀬戸市立図書館がこれからまきに行うリニューアルの事例も全国で大変増えてきている。全国色々な動きがあるため、リニューアルの事例を聞けば、なるべく見に行こうと思っている。特に瀬戸市がリノベーションの形にするため、そういった事例をもまた見たいと思っている。機会があれば、そのようなご紹介も含めてさせていただきたいと思う。今後ともよろしくをお願いします。

(2) 令和5年度利用状況等について

事務局(専門員)から資料3、4に基づき説明。

○会長

事務局からの説明に対しご意見・ご質問等はあるか。

○委員

先ほどの説明で、光陵中学校地域図書館の利用者が少し減ってしまったが、開館時間を変更したところ利用者が増加したという話があった。また、前回の会議では、陶原小学校の校長から陶原小学校、水無瀬中学校には地域図書館が無いという話があった。児童やその父母にとって、近隣であっても学区外にある地域図書館を利用することはハードルが高いと思うが、地域図書館は、学区などを考えた上で設置しているのか。

○事務局（図書館長）

「地域図書館づくり推進計画」が平成17年に作成されている。計画に基づいて整備し、7館の地域図書館を順調に開設することができた。この計画の中に、中学校区に一つの地域図書館を設置していこうという目標がある。ご指摘のあった陶原小学校は水無瀬中学校区になるが、水無瀬中学校区に現在設置ができていない。設置に向けて進めているところである。

○委員

光陵中学校地域図書館は、3階にあり行きにくい。今ある地域図書館のことも少し検討した方がよい。

○委員

3階まで向かうのは高齢の方と乳幼児を連れた子育て世代には不便になると感じている。3階に上がる階段が非常にわかりにくいことも気になっている。光陵中学校は3階図書館が外階段で上がっていくところにある。昨年度から2階に学校にちょっと足が向かないような子たちが入る「ここほっとルーム」という施設ができた。その子たちからすると、みんなの前を歩いてそこに上がるというのは非常に行きづらい部分もある。図書館もわかりやすい道を作ってあげたいという気持ちもあるが、「ここほっとルーム」のことを考えるとやっぱりできるだけ目立たないようにという部分もある。ただ学校としても、地域の方に活用していただける部分も協力したいと思い、例えば用務員さんがお花を植えて、通路を綺麗にするなど、いろんな工夫をしている。入り口はもう一つ図書館のすぐ横にもあるがそこは普段は金網で鍵をしており、また別の場所から歩いていくという入り方であるため、その部分は課題と感じている。

○会長

委員の質問にもあった光陵中学校図書館の開館時間が長くなったとはどういうことか。

○事務局（図書館長）

地域図書館としての開館時間は全地区共通で、土日祝日10時からというところは、変わらず光陵中学校地域図書館も開館した。地域図書館のこの統計に出ている数字は、学校図書館として運営しているところの数字も一緒に出てきてしまっている。少しわかりにくい数字ではあるが、学校図書館として少し開館時間が少なかったため、学校図書館として、機能していなかった時期があったが、今は開館しており、生徒たちがよく利用してくれているため、順調に数字が伸びている。

○会長

地域図書館について質問がいくつかあった。瀬戸市が取り組んでいる土日休日だけ小中学校の学校図書館を地域図書館として開放するというのは、全国でも珍しい。1中学校区に1館と

ということで、7館できたということは、8中学校区であったか。

○事務局（図書館長）

7中学校区になる。水野中学校区に、地域図書館が2館できている。これは、学校の空きスペースの関係と学校の教室を改修するときに設置したためである。今できていない水無瀬中学校区に設置できるようにしていきたい。

○会長

セキュリティ面から校内の端にある学校図書館を地域図書館として指定しているが、にじの丘ライブラリーのように、校内の中央に設置という例外もある。もう少し行きやすく、使いやすという視点で今後新たな地域図書館を設置する際には、考えていただきたい。

情報ライブラリーで学生の利用者数が増えたという話だが、どのくらい椅子を増やしたか。

○事務局（図書館長）

4座席である。これにより勉強できるスペースが増えた。

○会長

市役所は自習室として使えないのか。

○事務局（教育部長）

市役所は、土日閉まっている。情報ライブラリーがあるパーティセとという建物自体に学生が集まっている。

○会長

学生を将来の利用者として捉え、本の魅力を示すなど戦略として今後うまくやっていっていただければと思う。

総貸出冊数約59万3000冊を瀬戸市人口約12万6000人で割ると、約4.7冊となる。日本の平均が5冊と言われている。良い図書館と言われて、貸し出しが多い図書館が人口1人当たり10冊であるため、もうちょっと頑張りたいと思う。本館だけでなく、地域全体の活動で現状維持するか、5冊とか5.5冊とかに少し伸ばしていただけるといいと思う。

(3) 令和6年度事業計画等について

○事務局（図書館長）

資料5に沿って説明・報告。

○会長

事務局からの説明に対しご意見・ご質問等はあるか。なければ、資料に記載のないイベントが増えたりする可能性もあるか。

○事務局（図書館長）

各団体から連携でイベントをやりたいとお声掛けいただいている。職員の人数にも限りがあるが、できる限りやっていきたい。

○会長

他に意見や質問がないようなので次の議事に進む。進行を事務局に戻す。

(4) 図書館リニューアルについて

○事務局（図書館長）

パワーポイント資料及び令和6年7月2日付け『中日新聞』朝刊なごや東版の記事を基に説明。

○会長

事務局からの説明に対しご意見・ご質問等はあるか。

○委員

説明のあったリニューアルの内容は決定事項か。

○事務局(図書館長)

現段階では、設計中のため、最終決定はまだされていない。

○委員

集会室はどうなるのか。

○事務局(図書館長)

建物はそのまま、アクティブラーニングの部屋として役割を持たせる。机をアクティブラーニング用として新しくし、調子の悪いエアコンを更新させたい。

○委員

瀬戸市の市立図書館が、近隣の市町の図書館と比べて一番大きな違いは、森の中にあることだと思う。いろいろとワクワクするような仕掛けをしていくことがわかった。外の自然の森とうまく融合して、ちょっとしたところにベンチや何かで、読書ができれば、すごく素敵だと思った。感想として述べる。

○事務局(図書館長)

芝生広場のところにキッチンカーを呼ぶようにした。少しずつであるが、テラスでも読書をし、気候のいいときには藤棚の下で勉強している利用者もいる。延床面積が約1500平米しかないため、外の森も利用しながら使っていきたいと思っている。

○委員

図書館の中に飲食スペースがあるとよい。

○事務局(図書館長)

リニューアル後に、市民の皆さんとルール作りをしていきたい。規則でうたっていないが、図書館は飲食してはいけない場所という固定観念があるが、ルール作りの中で地域の皆さんとどういう場所にするのかを今後決めていきたい。

○委員

70年ちょっと住んでいるが、図書館に来たのが今回初めて。豊田市寄りに住んでいるため、ここまでくるというのが、結構難しかったと思う。森の中で食事をしながら本を読んでいるのは、よいと思った。

○委員

図書館の中だけでなく、アクセス面も考えていただけるといい。

○事務局(図書館長)

アクセス数の問題については、非常に課題があると思っている。残念なことに森の中にあるため、とても素敵な壁画のある建物だが下から見えない。少しでも良くなるよう案内板等も工

夫し、変えていかなければならないと思っている。

○委員

フリーWi-Fiがあると良い。

○事務局(図書館長)

フリーWi-Fiについては、スポットが何ヶ所か置いてある。主に自習で利用されることが多い2階の会議室では、そのスポットからWi-Fiがうまく接続できない状況である。リニューアルを機に、スポットの位置をよく検討し、必要なところでWi-Fiが繋がるように整備をしていきたい。

○委員

平面図だけではちょっとイメージが湧かない。図書館に入って玄関の右側に図書館の掲示板があり、リニューアルプランが掲示されているが、よく利用されている方にも伝わっていないと思う。利用者の関心事は、本館休館中に「どこで本を借りることができるか」である。掲示板に意見を記入できる場所があるとよい。

○事務局(図書館長)

休館中でも地域図書館と情報ライブラリーは引き続き使うことができ、電子図書館サービスの方も今と変わらず利用できることを皆さんに届くようにしっかりと宣伝していきたいと思っている。

○会長

国立国会図書館の「カレントアウェアネスポータル」に図書館の音に関する記事を執筆した。男性などの周波数の低い声は床で吸音できるが、子どもや女性などの高い声は天井でないと吸音できない。メインのところはテーマ配架により一般書と児童書が混配され、子供と大人が一緒に過ごすこととなる。高く見せるために玄関の天井を剥がすことが少し心配である。設計のチームでも、ぜひ検討していただきたい。

また、テーマ別配架をやりすぎると、実は逆に探しにくいということがある。探しやすくなるように、何か工夫をしてほしい。札幌市情報館と岡山県瀬戸内図書館を参考にしてほしい。ブックエンドはスチールの方が良い。

○委員

市立図書館は今回の改修で一旦落ち着くが、瀬戸市は図書館と地域図書館のネットワークで構成されているため、改めて地域図書館のあり方と再編について全体像を考えた方がいい。

○会長

今後継続して検討する。図書館と学校が結びついており、ネットワーク型の特徴のあるシステムだと思う。図書館サービスだけでなく市民サービス等も生涯学習およびコミュニティの拠点として、ネットワーク型の図書館を活用してほしい。

他、意見や質問ないか。なければ、議事終了したため、進行を事務局に戻す。

5 その他

会長から引き継ぎ、事務局が進行

○事務局（図書館館長）

資料6に沿って説明・報告。

○委員

昨年、図書館友の会が主催の田原市中央図書館の見学会を行った。

6 閉会

次回の図書館協議会は2月頃の開催予定。

令和6年度第1回瀬戸市図書館協議会
次 第

日時：令和6年7月9日
午後3時～4時30分
会場：瀬戸市立図書館集会室

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

資料1

資料2

4 議 事

(1) 会長、副会長の選任について

(2) 令和5年度利用状況等について

資料3

資料4

(3) 令和6年度事業計画等について

資料5

(4) 図書館リニューアルについて

5 その他

資料6

6 閉 会

瀬戸市図書館協議会委員名簿

任期：令和6年6月1日～令和8年5月31日

(敬称略)

区分 (条例第5条該当号)	所属・団体	役職	氏名
学校教育関係者 (1号)	瀬戸市立東山小学校	校長	野田 敬資
学校教育関係者 (1号)	瀬戸市立光陵中学校	校長	佐合 浩史
社会教育関係者 (1号)	瀬戸市公民館協議会	会長	加藤 英憲
社会教育関係者 (1号)	愛知芸術文化センター愛知県図書館	資料支援課長	米井 勝一郎
図書館利用者 (2号)	瀬戸図書館友の会	会長	加藤 絹子
図書館利用者 (2号)	瀬戸市立水南保育園	園長	柴田 優子
学識経験者 (3号)	南山大学総合政策学部	教授	石川 良文
学識経験者 (3号)	愛知工業大学工学部	教授	中井 孝幸
市民公募 (4号)	市民公募	子育て世代代表	加藤 由夏
市民公募 (4号)	市民公募	大学生	村木 さやか

10名

瀬戸市図書館協議会条例

(目的)

第1条 この条例は、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）の規定に基づき、瀬戸市立図書館（以下「図書館」という。）の運営に関し協議をするため、瀬戸市図書館協議会を設置し、市民の教育及び文化の発展を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。

(設置)

第2条 法第14条第1項の規定に基づく図書館協議会として、瀬戸市図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(組織)

第3条 協議会は、委員10人以内で組織する。

(担当事務)

第4条 協議会は、図書館が行う図書館奉仕に関し瀬戸市立図書館条例（昭和45年瀬戸市条例第19号）第6条に規定する館長（以下「館長」という。）に意見を述べることができる。

2 協議会は、館長の諮問に応じて、図書館の運営に関し調査審議する。

(委員)

第5条 協議会の委員は、次に掲げる者の中から瀬戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が任命する。

- (1) 学校教育又は社会教育の関係者
- (2) 図書館利用者
- (3) 学識経験者
- (4) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第6条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、任期中においても委員を解任することができる。

3 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第7条 協議会に、会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、図書館において処理する。

(委任)

第10条 この条例で定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成30年4月1日から施行する。

令和5年度 瀬戸市立図書館 利用状況

1. 総括表

			合 計	前年度合計	月平均	前年度 月平均	対前年比(%)	
本館 (学校配達分含む)	開 館 日 数		337	338	28	34	99.7%	
	入 館 者 数		190,529	197,522	15,877	19,752	96.5%	
	個人 貸出	利用者数(人)	99,023	100,582	8,252	10,058	98.5%	
		貸出冊数(冊)	432,769	438,611	36,064	43,861	98.7%	
	新規登録者数		2,091	2,053	174	205	101.9%	
団体貸出	貸出冊数(冊)	30,823	25,958	2,569	2,596	118.7%		
情報 ライブラリー	開 館 日 数		358	347	30	35	103.2%	
	入 館 者 数		59,240	49,851	4,937	4,985	118.8%	
	貸出	利用者数(人)	14,174	13,694	1,181	1,369	103.5%	
		貸出冊数(冊)	37,846	36,712	3,154	3,671	103.1%	
地域 図書館	品野台小(宝島) 平成18年開館	貸出	利用者数(人)	1,817	1,701	151	170	106.8%
		貸出冊数(冊)	5,043	4,747	420	475	106.2%	
	光陵中 平成20年開館	貸出	利用者数(人)	1,083	1,267	90	127	85.5%
		貸出冊数(冊)	3,327	3,733	277	373	89.1%	
	西陵小 平成21年開館	貸出	利用者数(人)	7,250	7,614	604	761	95.2%
		貸出冊数(冊)	10,526	11,109	877	1,111	94.8%	
	水野小 平成22年開館	貸出	利用者数(人)	5,739	4,527	478	453	126.8%
		貸出冊数(冊)	11,191	9,594	933	959	116.6%	
	東山小 平成23年開館	貸出	利用者数(人)	6,828	6,692	569	669	102.0%
		貸出冊数(冊)	8,366	8,100	697	810	103.3%	
	幡山西小 平成29年10月開館	貸出	利用者数(人)	10,491	10,729	874	1,073	97.8%
		貸出冊数(冊)	17,967	18,860	1,497	1,886	95.3%	
	にじの丘学園 令和2年10月開館	貸出	利用者数(人)	18,142	20,788	1,512	2,079	87.3%
		貸出冊数(冊)	35,504	36,740	2,959	3,674	96.6%	
総 貸 出 冊 数			593,362	594,164	49,447	59,416	99.9%	

2. 貸出状況

総貸出数 資料区分	貸 出 場 所			計	構 成 比	前年度 実績	増減数
	本 館	情報ライブラリー	地域図書館				
一 般 書	227,441	23,025	7,887	258,353	43.5%	259,999	-1,646
児 童 書	211,154	8,490	83,512	303,156	51.1%	298,890	4,266
郷土資料	1,220	64	132	1,416	0.2%	1,386	30
点字・大活字本	7,372	761	237	8,370	1.4%	9,603	-1,233
小 計	447,187	32,340	91,768	571,295		569,878	1,417
雑 誌	11,307	4,342	154	15,803	2.7%	17,315	-1,512
視聴覚資料	5,098	1,164	2	6,264	1.1%	6,971	-707
小 計	16,405	5,506	156	22,067		24,286	-2,219
合 計	463,592	37,846	91,924	593,362		594,164	-802

3. 蔵書状況

資料区分	前年度蔵書数	購入	寄贈/他	除籍・変更	年度末蔵書数	増減
一般書	213,082	5,627	223	5,921	213,011	-71
児童書	100,160	3,552	49	3,279	100,482	322
郷土資料	16,860	51	254	7	17,158	298
点字・大活字本	3,244	75	2	952	2,369	-875
小計	333,346	9,305	528	10,159	333,020	-326
雑誌	9,135	2,794	24	2,740	9,213	78
視聴覚資料	2,708	44	8	68	2,692	-16
小計	11,843	2,838	32	2,808	11,905	62
合計	345,189	12,143	560	12,967	344,925	-264

4. 予約状況

	5年度	4年度	月平均	増減数	対前年比(%)	WEB 利用 割合
全体数	52,311	50,627	4,359	1,684	103.3%	
内OPAC利用	4,482	4,151	374	331	108.0%	
内WEB利用	36,592	34,497	3,049	2,095	106.1%	68.1%

5. 利用者用パソコン利用状況(PCルーム内)

		5年度計	4年度計	月平均	増減数	対前年比(%)
インターネット 2台	人数	753	217	63	536	
	時間	736	196	61	540	
CD・DVD視聴 1台	人数	4	2	0	0	
	時間	2	2	0	0	

※本館Wi-Fiサービスあり(CD・DVD視聴:平成20年度開始)

☆令和4年度は6月23日からPC2台、CD・DVDは1台で再開した。

6. 情報ライブラリー利用者用パソコン利用状況(インターネット用4台設置)

		5年度計	4年度計	月平均	増減数	対前年比(%)
インターネット	人数	573	357	48	216	
	時間	520	367	43	153	

※パーティセと3階交流広場Wi-Fiサービスあり

☆令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、パソコン利用を中止した。

☆令和4年度は6月23日から再開した。

7. 電子図書館利用状況(令和3年2月25日電子図書館開始)

	5年度計	4年度計	月平均
貸出冊数	11,524	5,457	960
延べ利用者数	12,010	7,372	1,001
実利用者数	688	767	57

令和 5 年度 事業結果

主な事業

(1) 地域図書館

「身近な場所に身近な図書館を」をコンセプトに、小中学校との連携により、土日祝日に学校図書館を一般開放し、図書の閲覧、貸出・返却など、図書館の分館機能を持たせたサービス提供を図書館サポーターとの協働により行っている。

開設校	品野台小学校	光陵中学校	西陵小学校	水野小学校	東山小学校	幡山西小学校	にじの丘学園
開設日	H18. 10. 7	H20. 10. 4	H21. 10. 3	H22. 10. 9	H23. 10. 15	H29. 10. 1	R2. 10. 3

開館日時：土日祝日 午前 10 時～午後 3 時

内容：学校図書館の一般開放、蔵書充実のための支援（一般書・児童書）、図書館と共通の利用カード等

地域図書館の来館者数（土日祝のみ） (人)

	子ども	大人	合計
令和 5 年度	4, 497	6, 211	10, 708

(2) 各種講座・行事の開催

ア 夏休み子ども理科教室

日時：令和 5 年 7 月 31 日（月）午前・午後 2 回

場所：図書館 1 階 集会室

講師：瀬戸市理科教育研究会

参加：市内小学生 3～6 年生 35 名



<講座「夏休み子ども理科教室」>

イ 子どものお金講座「お金ってなあに」

日時：令和 5 年 7 月 25 日（火）

場所：図書館 1 階 集会室

講師：瀬戸信用金庫職員

参加：子ども 27 名、大人 5 名



<子どものお金講座「お金ってなあに」>

ウ 夏休み宿題応援企画「読書感想文を書こう！」

日時：令和 5 年 7 月 27 日（木）28 日（金）

場所：図書館 1 階 集会室

講師：奈雅月ありす（瀬戸児童文学の会）

参加：小 1・2 年生 5 組（親子参加）

小 3・4 年生 8 名 小 5・6 年生 9 名



<講座「読書感想文を書こう」>

エ 第 27 回 図書館まつり

期間：令和 5 年 10 月 18 日（水）～11 月 21 日（火）

内容：10/18 上映会「シェイクスピア その魅力に迫る」
(13 名参加)

11/3 本のリサイクル市 (633 名来場)

- 11/5 子ども1日司書（5名参加）
- 11/8 「瀬戸高校の図書館まつりを見に行こう」（12名参加）
- 11/11 文学カフェ「せとでん『お堀電車』の時代」（23名参加）
- 11/12 高校生ビブリオバトル（34名参加）、
- 10/26～11/2 キッズルーム開設
- 10/26～11/21 ギャラリー展示「瀬戸市みんなの生活展」
- 10/26～11/21 玄関展示「健口の大切さ」



<本のリサイクル市>



<高校生ビブリオバトル>

オ 読み聞かせボランティアステップアップ研修会・交流会

日時：令和6年3月27日

場所：図書館 1階 集会室

講師体調不良による中止

カ 市民ギャラリー展示（月1回入替）

読書感想画展、教科書展示、瀬戸市美術館開催の北川民次展、夏休みに向けた講座案内と作品展（交通児童遊園、せと子ファミリー交流館）、ノベルティ・こども創造館開館20周年記念、図書館友の会作品展、赤い羽根コンクール入賞作品展、瀬戸市みんなの生活展、瀬戸八景の今と昔の比較展、パラアートせと、瀬戸工科高校作成 消防団員募集ポスター展、選挙啓発ポスター展、のぞみ展

キ 玄関展示（月1回入替）

「春、大人も楽しむ 美しい絵本」、「湿地と生物多様性」（環境課）、「せとやきだいかいぼう！調べてみよう、瀬戸焼のこと」（ものづくり商業振興課）、「わたしのため、家族のためにも健康診査」（国保年金課）、「知ろう、認知症」（高齢者福祉課）、「男女共同参画」（まちづくり協働課）、「健口の大切さ」（国保年金課）、「人生会議」（高齢者福祉課）、「瀬戸市の市民講座『学びキャンパスせと』で学んでみませんか？」（まちづくり協働課）、「球技に挑戦@ライブラリー」、「古典—紫式部と平安の時—」

ク その他

- ・読み聞かせ、おはなし会（定期開催）

午前11時～11時30分 職員・ボランティアにより実施

月曜日、火曜日(月 2 回不定期)、奇数月の第 1 水曜日、木曜日、第 3 土曜日
(149 回開催、1,520 名参加)

- ・子ども読書の日 おはなし会 (4/23 子ども 10 名、大人 10 名参加)
- ・上映会 (毎月第 3 水曜日開催) (12 回開催、138 名参加)

午前 10 時～11 時 30 分

シェイクスピアその魅力に迫るシリーズ

「ハムレット」「ロミオとジュリエット」「リア王」「夏の夜の夢」「じゃじゃ馬馴らし」「十二夜／お気に召すまま」「オセロ」「アントニーとクレオパトラ」「マクベス」

夏休み子ども映画上映会「くまのがっこう」(8 月)

玄関展示との連携「ケアニン～あなたでよかった～」(12 月)

特別企画「ニューヨーク公共図書館」(3 月)

- ・キッズルーム

春 (4/27～5/7)「おばけまつり」

顔出しパネル、お化けのお面をつくって写真を撮ろう

期間中毎日、読み聞かせ(67 名参加)

秋 (10/26～11/2)

「森のはるなつあきふゆをいちどにたのしもう♪」

てづくりえほんコーナー

期間中毎日、読み聞かせ(97 名参加)

- ・わいわいフリマーケットに出店 (5/31 リサイクル本) |

- ・戦争体験を聞く会 (7/24 子ども 9 名、大人 8 名参加)

戦争体験者：津田さゆ子氏、堀千代子氏

- ・こわ～いおはなし会 (7/28 第 1 部 14 名、第 2 部 12 名参加)

- ・高校生ミーティング (7/19 市内高校生 6 名参加)

- ・ワークショップ「わくわく図書館づくり」(8/28 10 名参加)

愛知工業大学中井研究室

- ・クリスマスおはなし会 (12/16 34 名参加)

- ・ワークショップ「これからの図書館を考える」(1/13 20 名参加)

講師：太田剛氏 (図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター)

- ・トライアングルフェアに出店 (3/9 男女共同参画のテーマ展示)



<春のキッズルーム会場の様子>



<わくわく図書館づくり>



<これからの図書館を考える>

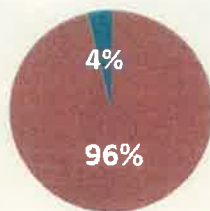
	図書館協議会	図書館イベント	ブックスタート	図書館見学 職場体験等 受け入れ	読書活動 啓発・推進	展示	他図書館等との 連携事業	その他	施設管理	地域図書館	学校図書館支援	市内施設支援等		図書館友の会	
												公共施設等への 貸出	小中学校への 貸出		
通年	・年2回	・上映会(月1回、第3水) ・読み聞かせ(未就園児) 毎週月・木 火(月2回)	・月2回 6か月健康診 断 やすらぎ会館	・小2図書館見学 ・中2職場体験 ・高校生職場体験 ・大学生実習	・子ども読書活動推進 協議会	・玄関展示(各月) ・市民ギャラリー展示 (各月) ・教科書センター(教科 書展示)	・大学コンソーシアム ・図書館連携健康支 援事業(めりーらい ん)		・定期点検 ・図書館施設整備事業 ・本館長寿命化改修工事 設計、工事	品野台小、光陵 中、西陵小、水野 小、東山小、幡山 西小、にじの丘学 園 土・日・祝 10~15時開館	品野台小、光陵中、西 陵小、水野小、東山 小、幡山西小、にじの 丘学園 週1回司書派遣 依頼に応じて、読み聞 かせ、ブックトーク派遣	幼稚園 保育園 やすらぎ会館 陶生病院 交通児童遊園 せとっ子F交流館 少年院 発達支援室 公民館 交流センター	掛川・長根・下品野・幡 山東・萩山・光陵 6校 年2回学校配達 学校への団体貸出随 時	・世話人会 月第3土 ・本の補修 毎週火 ・会報発行 年3回	
4月		・キッズルーム			4/23子ども読書の日 こどもの読書週間 4/23~5/12 (キッズルーム)	市:読書感想画展3/28 ~5/21 玄:		長 寿 命 化 改 修 工 事 設 計			・新入生・転入生利用 カード作成 ・図書委員会にて、利 用ガイダンス			4/16総会	
5月				小2図書館見学		玄:				5/3 水野まつり ジョイントイベント			・学校配達1回目		
6月						市:教科書展示 玄:									・七夕飾付
7月	7/9第1回	7/22子どものお金講座 7/23戦争体験を聞く会 7/26,29読書感想文 7/29こわ〜いおはなし会 7/30子ども理科教室				市: 玄:									7/6七夕おはなし会 7/24図書館友の会懇談会
8月						市: 玄:									
9月						市: 玄:						・図書主任者会議			8/22~9/20友の会作品展
10月		図書館まつり ・キッズルーム ・こども1日司書 ・高校生ビブリオバトル ・おはなし会		・小2図書館見学 ・中学生職場体験 学習		市: 玄:	10/26高校生ビブリオ バトル					・図書主任研修支援		・学校配達2回目	秋の講演会
11月					読書週間 10/27~11/9 (キッズルーム)	市: 玄:									11/22図書館視察 ・クリスマス飾付
12月						市: 玄:									クリスマスおはなし会
1月						市: 玄:									
2月	第2回					市: 玄:	コンソ活動成果報告 会		長 寿 命 化 改 修 工 事						
3月						市: 玄:									
備考															* 特別館内整理休館 令和6年9月21日~9月30日

図書館・書店等の連携事例（事例集より抜粋）

地元書店からの購入

鳥取県立図書館(鳥取県)

図書館で購入する
図書・雑誌などは、
原則地元書店から
購入している
電子書籍について
も、地元書店を通じ
て契約している



■ 地元書店
■ その他
地元書店からの購入割合
(令和4年度鳥取県立図書館)

塩竈市民図書館(宮城県)
山形市立図書館(山形県)
白河市立図書館(福島県)
宇佐市民図書館(大分県) 等

地元古書店と連携した取組

千代田区立千代田図書館(東京都)

地元の古書店連盟と図書館が連携した展示を年に
数回実施
テーマごとに古書店をセレクトし、店舗の特徴や古
書を図書館内で展示・紹介することで、図書館の来
館者に古書店街や古書の魅力を伝える

書店での図書館資料の 受け取りや返却

町田市立図書館(東京都)

インターネットやリクエスト用紙で予約した市立図書
館の書籍を書店で受け取り・返却ができるサービス
を実施
書店への訪問機会が増加し、児童書等の売り上げが
前年同月比1~2割増となった

図書装備の工夫

幕別町図書館(北海道) 瀬戸市立図書館(愛知県)

地元書店から購入した図書の装備を
福祉事業所において実施



図書館での
レクチャーの
様子(幕別町)

市立留萌図書館(北海道)

地元書店から購入した図書の装備を
書店を応援する地域のボランティア
が実施

書店と連携した読書活動

島根県立図書館(島根県)

●学校司書研修とブックフェアの同時開催
図書館が実施する学校司書研修にあわせ
て、書店が主催するブックフェアを開催
研修の日程に合わせて開催することで、一
定の参加者が見込め、図書の販売につなげ
ていく

豊田市中心図書館(愛知県)

●書店での読み聞かせ活動
書店で開催されている読み聞かせで図書館
の本を活用
図書館と書店が資料や人を交えて連携する
ことで、それぞれの利用者が行き来する流れ
ができた

鹿児島市立天文館図書館(鹿児島県)

●スタンプラリーの実施
図書館周辺にある古書店と文学館
と連携してスタンプラリーを実施

図書館と地元書店との地域連携

瀬戸市立図書館(愛知県瀬戸市)

URL: <http://www.lib.seto.aichi.jp/>

テーマ

図書館と書店等が連携した経営・運営

取組概要

図書館の本を地元書店から購入し、本の整備を福祉施設(就労事業所)へ依頼
商店街イベントに読み聞かせボランティア等の紹介、派遣

取組詳細

活字離れで書店が激変し、社会問題になっているが、地域の読書文化を支えていくには図書館のみならず街の書店が必要である。街全体の読書文化を盛り上げていくため書店と図書館が連携して読書活動を進める活動を行っている。

- 東京の業者が整備した本を地元の瀬戸市立図書館用図書納入組合(以下、書店納入組合という)を通して購入していたものを直接、地元の書店納入組合から購入することとした。
整備は市内福祉施設(就労事業所)と書店が連携して行う「幕別モデル」の導入



・作業を分担し、それぞれができることを行っています。

- 商店街のイベントに、瀬戸市立図書館と友好関係のあるイラストレーターを紹介し、ワークショップを開催したり、読み聞かせのイベントに図書館のボランティアを派遣したりしている。

基本データ
(数値は令和5年現在)

住所
愛知県瀬戸市東松山町1-2
人口 12.7万人
(図書館が所在する市町村)
職員数(うち有資格者数)
6人(4人)
(委託スタッフ35人(25人))
蔵書数 約 34万冊

取組の成果と今後

【成果】東京の業者からの直接納入は、電算システムとも連動して、本の発注から受け入れまで一貫通貫のシステムであったため、人員不足を補うことが出来たが、司書の選書能力やレファレンスに必要な教養・知識・技術を身に付ける機会を奪っていた。地元の書店納入組合から本を一冊一冊確認して発注、受け入れをすることにより、司書としてのスキルアップも出来、魅力ある蔵書構成にも繋がった。

また、書店納入組合との連携により情報交換が密となり、地元書店と図書館双方の活性化を図ることが出来、書店の存続にも貢献できている。

【今後】地元書店がますます活気づき、図書館とともに地域の読書文化を発展させていき、さらには、幕別モデルのように障害者雇用の拡大、税金の域内循環など新たな地域型の経済効果を生み出す政策を確立したい。